

平成29年 3月10日

川崎市議会議長 石田 康博 様

宮前区

リニア新幹線を考える宮前の会
ほか 1団体

J R 東海のリニア中央新幹線梶ヶ谷非常口「ケーソン工法」採用に伴う川崎市環境アセスに適合しているかどうかの再評価を求める陳情

陳情の要旨

J R 東海による J R 東海中央新幹線梶ヶ谷非常口及び資材搬入新設工事の工事説明会が平成29年3月4日梶ヶ谷小学校で開催され、ニューマチックケーソン工法で工事することが明らかになりました。

この工法は圧縮空気を用いる工法で実施するため、法等に基づき、半径1kmの範囲内にある井戸等について調査を行い、工事に伴う空気の漏出がないかを確認しながら工事を実施しますとの説明でした。

この半径1kmの範囲内には宮前区や高津区の地下水、湧き水、地下室、移籍、古墳があると思われます。自然破壊を含め、それらの全てに影響がないのかどうか、市民として非常に心配なところであります。

工事説明会の後、「中央新幹線梶ヶ谷非常口新設工事における環境保全について」が J R 東海から市に提出されると思います。その際、その評価に合わせ、少なくとも半径1km範囲内で、本市環境アセスの趣旨に沿って工事が進められるのか、アセスで指摘したことが実施されているか、市民への工事説明会は十分に納得できる説明会になっているかも含め、評価し、その結果を市民に公表し、必要に応じて、J R 東海や西松建設への監督、指導を求める陳情をいたし

ますので、よろしくお願ひいたします。

陳情の理由

市環境アセスの際に、不明点、不足分や指摘事項も多く、事後調査に回されたものや、工事説明会ではっきりさせますと回答された事項も多くあったと思います。この際、まとめて振り返り、評価する必要があるため。

良い例えではありませんが、環境に関しての、第二の豊洲問題、第二の森友学園問題にならないか懸念されるため。

平成29年7月から先行掘削工事を開始し、平成29年9月から、この工法で工事を実施しようとしています。至急対応をお願いいたします。